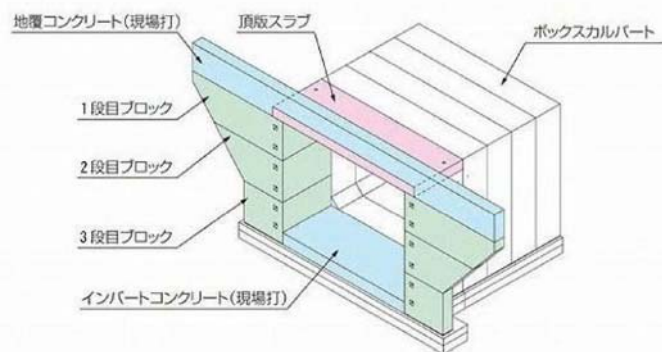


技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT 品質 （該当する分類に○を付けてください）																							
技術名称	プレキャストLウイング	担当部署	研究開発課																					
NETIS登録番号	QS-160010-A	担当者	島 佳奈子																					
社名等	インフラテック株式会社	電話番号	050-3085-9434																					
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 ボックスカルバートに付随するウイング工は、従来、現場打ちコンクリートにより形成されておりました。そのため、施工現場において型枠の組立、現場打ちコンクリートの打設、養生、型枠の撤去などの現場作業が必要となり、工期が長期化するとともに施工手間が増大してしまう不都合がありました。 2. 技術の内容 本製品は、ボックスカルバートに付随するウイング工を製品化したものです。 底版部、地覆部を除いた主部材をプレキャスト化することにより、特殊な技術を必要としません。 そのため、省人・省力化に加え、品質、施工性の向上と工期短縮が期待できます。 3. 技術の効果 プレキャストLウイングは、部材がL型形状となっています。横倒しにしたL型部材を積み重ねて施工するため、安定して施工性を行なうことができます。 ボックスカルバートに加えて、ウイング工も二次製品化することにより、工期短縮、施工性が向上します。 4. 技術の適用範囲 ボックスカルバートの外壁からウイングの先端までの最大張り出し長さは8mとします。 今後、既設のプレキャストボックスカルバートや現場打ちボックスカルバートへの接続を検討予定です。 5. 活用実績 <table border="0"> <tr> <td>国の機関</td> <td>1 件</td> <td>（九州</td> <td>1 件</td> <td>、九州以外</td> <td>0 件</td> <td>）</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>2 件</td> <td>（九州</td> <td>2 件</td> <td>、九州以外</td> <td>0 件</td> <td>）</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>0 件</td> <td>（九州</td> <td>0 件</td> <td>、九州以外</td> <td>0 件</td> <td>）</td> </tr> </table>			国の機関	1 件	（九州	1 件	、九州以外	0 件	）	自治体	2 件	（九州	2 件	、九州以外	0 件	）	民間	0 件	（九州	0 件	、九州以外	0 件	）
国の機関	1 件	（九州	1 件	、九州以外	0 件	）																		
自治体	2 件	（九州	2 件	、九州以外	0 件	）																		
民間	0 件	（九州	0 件	、九州以外	0 件	）																		

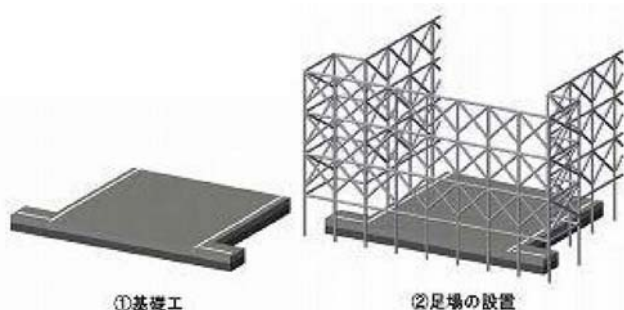
6. 写真・図・表



構造概要

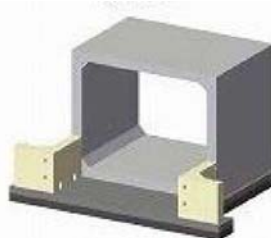


施工状況

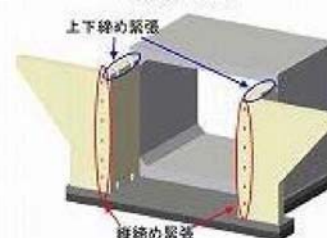


①基礎工

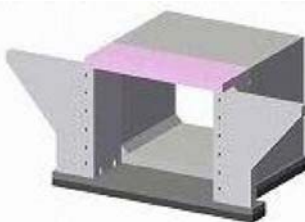
②足場の設置



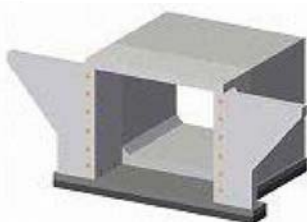
③ウイング部の据付 (以降、足場は除いて図示)



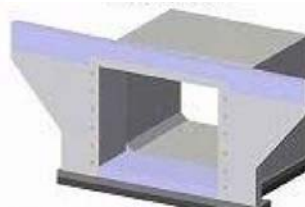
④緊張工



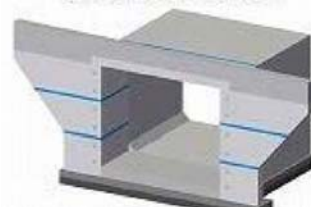
⑤スラブの設置



⑥グラウト工、切欠部充填工



⑦底板コンクリート、天端地覆部コンクリート打設



⑧内目地処理(⑦、⑧は工程により前後する)

施工手順



完成写真